



令和7年11月2日(日) 11:00-11:45

第10会場

<テーマ>

One Case, One Insight – 症例報告が導く観察と思考の深化 –

<ねらい>

日々の臨床で向き合う一例一例には、学びの芽が潜んでいる。しかし、日常業務の多忙さや経験不足、発表への不安から、若手技師を中心にその芽が見過ごされがちである。症例報告は珍しさを競う場ではなく、日常の症例を丁寧に観察し、考察を深め、他者と共有する営みこそが学びの本質を形づくる。

本講演では、症例報告の進め方やプレゼン技法を実例とともに解説する。症例選定の視点、構成の工夫、視覚的提示、そして考察における独自の解釈と言語化の重要性を示し、臨床検査技師が「情報の受け手」から「意味を創造し共有する存在」へと成長する過程を描く。症例報告に迷う若手技師に、観察と思考を深化させる第一歩を踏み出す契機となることを目指す。

司会 山本 幸治（三重県臨床検査技師会参与）

<講演内容>

「One Case, One Insight – 症例報告が導く観察と思考の深化 –」

演者：松林 正人（三重ハートセンター 臨床検査科）